



ダイレクトなSEサポート体制と直結した次世代クラウド

SOFLA Cloud Center



ソフラ 株式会社

お客様のクラウドコンピューティングを支える 「ITのワンストップサービス」発信拠点

ソフクラウドセンターでは最新の設備とともに、情報システムの専門スタッフがシステム運用も含めてトータルサポートいたします。

<クラウドセンター設備>

ソフクラウドセンターは東日本大震災後の新基準をクリアした最新のクラウドセンターです。

【JDCC：J-Tier レベル3（受電設備2）、JEITA：安全対策適合証明・ISO27001 に準拠】

立地場所は、液状化の危険性の少ない強固な地盤であることが確認されています。この土地のハザードマップでは、洪水被害は0~0.5m、津波・高潮・土砂災害は被害なしの想定です。

ソフクラウドセンターはさらに建物を1m高上げして、海拔8mに建設されています。

また、サーバーやネットワークシステムだけでなく、電気通信設備もすべて免震ビル内に設置されています。設備障害やセキュリティ検知情報も、すべてデジタル化された障害通報ネットワークで専任のスタッフが待機する中央監視室に、即座に通報されます。

中央監視室は、メンテナンスや監視業務時以外無人化されたクラウドセンターと同敷地内に設置しているため、高いセキュリティ状態を保ちながらも迅速な対応が可能です。

<自社システムのクラウド化提案>

自社システムを有効的にクラウド環境へシフトする為には、サーバー・ネットワーク・システム運用をトータルで設計する必要があります。

弊社の経験豊富なスタッフがそれをサポートします。また、調整が必要な個々のベンダーとの窓口も担当させて頂き、システムご担当者様のご負担を軽減したスムーズなクラウド化推進をサポートさせて頂きます。

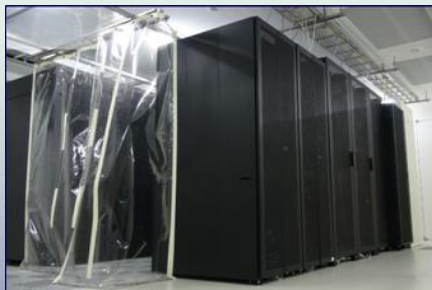
さらに、弊社パッケージやSI提案のアプリケーションをご利用いただければ、業務アプリケーションのサポートも可能なSEが同敷地内から即座に対応し、真の意味での「システム運用のクラウド化」が実現できます。

他のデータセンターにない大きな特徴を持っており、安心したクラウド移行が可能です。

サーバールーム

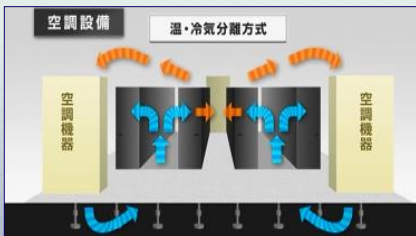
◆サーバールーム

1フロア36ラックで、目の行き届いた監視体制を実現。



◆効率を考慮した空調方式

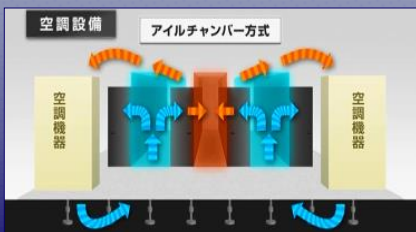
温・冷気分離方式、アイルチャンバー方式により空調効率を向上。



◆データバックアップ

サーバールームとは別区画の耐火スペースにメディア媒体の保管室を設置。

更に、DtoD (Disk to Disk) バックアップ設備利用による低コストバックアップ運用も可能。



セキュリティ

◆入退室・鍵管理システム

先進の設備を採用し、不正侵入をシャットアウト。
監視、その他センター内作業時以外は建屋を完全無人化。



◆全館監視システム

中央監視室を設置し、24時間365日の監視システムを構築。1日3回の監視員巡回監視。



電気通信設備

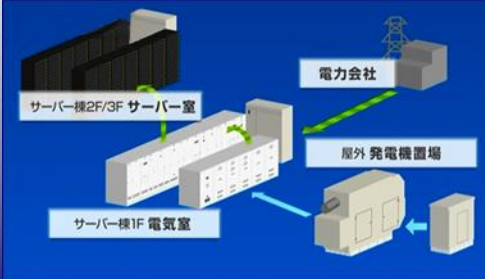
◆電気設備室

電気設備も免震設備上に設置し地震被災リスクをさらに軽減。



◆電気供給システム

ティア3レベルの冗長化された電源供給システム。
(UPS設備 N + 1 / 発電機 N / 発電機オイル確保 24時間)



防災設備

◆免震ビル

3種類の部材を組合せ、地震の影響を最小限に軽減。



◆超高感度火災検知・窒素ガス消火

機器や地球環境への影響の少ない窒素ガスを利用。



クラウドサービス全体図

システム運用含めたトータルサポート

クラウド化されたシステム環境で稼働する各種グループウェアやネットワーク環境、業務システム環境などをシステムご担当者様が遠隔サポートされるお手伝いを、幅広くワンストップで対応させていただきます。
独立系システムベンダーとして40年以上の実績のある弊社が「設備」だけでなく「ネットワーク」「システム運用」まで一貫してサポートさせていただきますので、障害時の原因切り分けや対応も弊社が窓口となりスピーディーな対応が可能になります。
安心したクラウド利用をして頂くための1社トータルサポートを実現します。

< 外部サービスとの連携 >



外部サービスやインターネット利用も同じゲートウェイから

インターネット網

ネットワーク
セキュリティ

専門的ネットワークの
サービス化

【ネットワーク】

メインFW

バックアップFW

インターネット出口
(FW二重化)

スパム対策

Proxy

URLフィルタ

VPNリモート接続

セキュリティ監視

ドメインサーバ(AD)

ネットワークHUB

各種サービスに接続

ホスティング 共用ネットワーク

メイン

バックアップ

メイン

バックアップ

ソフラCC サービスネットワーク

< 外出先からの利用 >

ノートPC、タブレット、スマートフォン



IaaS

クライアント

Thinクライアント化

【VDI (仮想デスクトップ)】



デスクトップ仮想化

業務

基幹を中心としたサーバー統合

【ホスティング&ハウジングサーバー】

業務系ホスティング

ファイルサーバ

ハウジング

Web会議



IBM iサーバー

※VDIと業務系ホスティングは
専用ネットワークと
共用ネットワーク選択可

サービスポート

クライアント

Thinクライアント化

【VDI (仮想デスクトップ)】

各社サービスを選択利用。

但し、接続先はソフラCC1カ所だけ。

回線も1回戦だけで都度増やす必要なし!

Thinクライアント端末



PaaS

開発プラットフォーム
・SOFLA AG
SOFLA開発環境も
PAAS利用

SaaS

アプリケーションサービス
・SOFLA パッケージ
各種パッケージも同一
ネットワーク上で利用可



建築物仕様

建設地域の安全性		<p>地盤 建築前の地盤調査結果より液状化の危険性が低い強固な立地</p> <p>災害 姫路市ハザードマップより、洪水被害 0～0.5m 建物を1m高上げて建築（海拔8m） 津波・高潮・土砂災害は被害なし想定</p>
建物仕様		<p>R C免震構造 地下1階 地上4階</p> <p>地下：免震層</p> <p>1階 電気室</p> <p>2階 第1サーバー室・第1データ保管室</p> <p>3階 第2サーバー室・第2データ保管室</p> <p>4階 消火設備室</p>
ラック	サイズ	19インチラック
	鍵	専用
	外寸 (mm) 【幅×奥行×高】	648×1,105×2,020
	パネルマウント	EIA規格 42U
	電源コンセント	2極接地付抜止型1回路 4口
床荷重 (㎡)		1,000kg/㎡
電源供給		<p>CVCF（無停電電源装置）、冗長（N+1）構成</p> <p>自家発電システム450kVA、給油用A重油1950ℓ</p>
提供電源	基本電力	単相100V 20A
	追加可能電源	単相100V 20A～
		単相200V 10A～
使用可能総容量	<p>8kVA</p> <p>※構成によりご提供できない場合があります。</p>	
空調		<p>床下吹き上げ方式</p> <p>大型空調設備、冗長（N+1）構成</p>
通信		<p>複数キャリア引き込みあり（MDF（主配線盤）を別室にし冗長化）</p> <p>N T T、オプテージ（旧ケイ・オプティコム）</p>
ウィスカ対策		<p>サーバー室床部材にウィスカ対策品を使用</p> <p>（鉛が含まれていない部材）</p>
セキュリティ		<ul style="list-style-type: none"> ◆入退室管理（24時間365日対応） I Cカード・サークルゲート・静脈認証 ◆屋外、室内監視 人感知センサー、監視カメラ ◆鍵管理 I Cカード認証によるキーボックス保管
		<p>中央監視室を設置</p> <p>設備自動監視（24時間365日対応）</p> <p>目視監視（1日3回定期巡回監視）</p>

▶ サービスメニュー

1. 運用サービス

1-1. バックアップ	1.定期バックアップ	日次バックアップや月次バックアップなど、スケジュールにより定期的に行います。テープ交換を含みます。
	2.フルバックアップ	システムのバージョンアップやプログラムのリリース時などの、システム全体のバックアップです。
	3.バックアップテープ交換	お客様が行うバックアップの際に、テープ交換のみ行います。
	4.D t o Dバックアップ	データファイルをテープでなくバックアップ用サーバに保管し遠隔地バックアップにも対応しています。
1-2. 保管	1.保管スペース	備品類やメディアなどを、専用ケースにて一時的に又は一定期間保管します。(H35×W45×45)
	2.金庫保管	記録済みメディアを金庫内に一定期間保管します。
1-3. 帳票出力	1.出力処理オペレーション	アプリケーションからの帳票出力を代行します。(納品書、月報など)
	2.デリバリーサービス	帳票出力後の後処理を行います。(封入、発送作業など)
1-4.各種オペレーション		上記以外のオペレーションを行います。(サーバーのメンテナンスやアプリケーション操作など)
1-5.リポート		お客様マシンのリポートを行います。
1-6.パッチ適用サービス		PTFやWindowsサービスパックの適応を行います。
1-7.障害復旧サポート		お客様と一緒に障害復旧を行います。(メーカーサポート手配、復旧作業等)

2. 監視サービス (記録作成、問題時の連絡)

2-1.Ping監視	PINGによる、ネットワークの死活判断を行います。
2-2.死活管理	目視による、ハードウェアの死活判断を行います。1日2回。
2-3.運用監視	ユーザーサイドでの利用状況を監視し、不正利用が行われていた場合は速やかに連絡します。
2-4.システムログ監視	システムログ(エラーログ)を監視し、問題が発生していないかを確認します。
2-5.セキュリティ監視	指定アドレス以外からのアクセスや、ウィルスを監視します。
2-6.サーバリソース管理	CPUやディスクの使用率が、あらかじめ定義した基準値を超えていないか監視します。
2-7.障害対策 (一次切り分け)	上記の監視項目に問題が発生した場合の、問題の一次切り分けを行います。
2-8.M I M I X同期監視	MIMIXによる同期の遅延、及びエラーが発生していないかを監視します。(9:00 - 18:00 目視監視)
2-9.メール通知サービス (障害時)	障害発生時に、エラーをメールにて通知します。(I B M製サーバーに限る)

3. レポーティングサービス

3-1.傾向分析サービス	資源の利用量の推移など、システム状況の傾向分析を行い、予兆や予想を報告します。
3-2.運用報告サービス	運用サービスの定期報告を行います。
3-3.監視報告サービス	監視サービスの定期報告を行います。
3-4.ログデータ提供サービス	お客様の依頼により、システムログの提供を行います。
3-5.預かり資産 管理報告	ハードウェアやメディアなど、お客様からの預かり資産の棚卸を行い、報告します。

▶ 外部認証

情報システムの設備環境基準 (JEITA IT-1002A)

JQA 情報システム及び関連設備の運用基準：平成26年6月適合

JDCC (日本データセンター協会)：J-Tier レベル3 (受電設備2)

